



# おおさか

会報 第24号 2007年

The Friendship Force of Osaka

## 渡航報告 ニュープリモスとタウポ(ニュージーランド) 2007年7月30日~8月13日

渡航 ED 森本吉彦

渡航の成否は「渡航者間の和」「相手クラブの受け入れ態勢」「ホストとアンバサダーの和」で決まると思います。今回はいずれもがうまく行ったといえましょう。関空を18:30発の予定が、エンジントラブルで2時間半も遅れての出発になったのには出鼻をくじかれた感はありましたが、他にはトラブルもなく、無事に渡航を終えることができました。参加者は、EDのほかに市原稔弘、岡山佳世(タウポのみ)、岸本朱子、草野静子、草野敏治、森本篤子、森由紀子、山本真美の9名。草野ご夫妻は岐阜クラブからの参加でした。紙面の写真で我々が着ている法被は、草野夫妻からお借りしたものです。岐阜から13人分持ってきてくださいました。日本の雰囲気が出て、着物のように着付けの必要もなく、いいものでした。ありがとうございました。

一週目にステイしたニュープリモスは人口6万人の市。会長のドロシー・アンダーソン女史は84歳、老齡なるも元気そのもの。人望もありクラブをよくまとめておられました。EDはアウディ・ハイマンさん。連日連夜、歓迎行事がビッシリ。到着翌日には市議会ホールで、Peter Tennent 市長自ら歓迎の宴を催してくださいました。会員は60代半ばから80代と高齢者ばかりでしたが、会員間の仲もよく好感が持てました。中等学校の授業参観は印象的で、有意義でした。すべてに平等を旨とし競争を避ける日本とは対照的に、能力主義が学校現場にあることが新鮮であり、それぞれの能力を発揮させることが子供たちのためにもよいように見えました。運動場では、生徒の多くが裸足であることにはおどろきました。

二週目のタウポは、シンガポールが丸ごと入るといふ大きなタウポ湖畔のリゾート地で、人口3万5千人。行事が目白押しで多忙な一週目に比べて、ここでは公の行事とフリータイムをうまく組み合わせた「程よい」ものでありました。会長のPat Davis-Piris女史は70歳前後の方で、EDは61歳のLen Malcolm氏。彼は細かく気配りが出来るナイス・ガイ。ここでもClayton Stent市長に市庁舎で歓迎会をしていただき、ありがた



かったです。両市とも、市長直々のサービス、またタウポでは一人ずつ名前入りの親善証をくださり、市長がフランクに我々と話されることも驚きでした。両クラブとも小さな町で、会員全員が車で20分もあれば往来できる環境で、我々とは全然異なります。女性会員がお元気なのはどちらも同じですが、全ての行事に全員が夫婦で参加するその積極性に目を見張りました。今後の大阪クラブの活動を充実していくための参考になりました。

## あんなこと・こんなこと

英語圏でひとりでステイするのは初めてで、自分の英語が通じるのか大いに心配でした。ニュープリモスで迎えてくださったホストの手には「市原さん」と漢字で、胸には「オーウェン」とカタカナの名札があり、思いがけない歓迎ぶりに胸がいっぱいになった。3日目によく独特の発音も聞き分けられるようになり、やはり体験が大切だと実感した。一番心に残ったのは人々の心遣い。特に、マオリのコンサートに行ったときは「今夜は寒くなるのでもっと暖かい服で出かけなさい！」ときびしい服装チェック。まるで母親のよう。こんな心配りを体験したのは何年ぶりだろう！自分がホストをするときにはこのことを忘れないでおこう。(市原稔弘)



出発時刻のいきなりの変更。イヤな予感！到着したニュープリモスは真冬の嵐。そのうえ私の荷物が行方不明。このままでは困る、といいながらも、ホストに「このピンクのセーター貸していただけます？」でも荷物はその日のうちに無事宅配されました。ご主人はマラソンの現役選手、部品を組み立てて自分で作ったフォードのクラシックカーを7台持つなど多趣味。テレビを見ない、9時過ぎには就寝、猫、犬が好き、早朝にニワトリにえさをやるのが日課。一方、タウポでは電気製品はすべて揃っていて、食料庫の中はぎっしり。何かトラブルがあると奥様が取り仕切る家庭。両クラブとも、皆よく食べ、よく話し、早寝早起きし、とても元気で健康。それぞれが趣味を楽しみ、仕事をこなし、若々しくたくましい。「人の和、家族の絆」を考えさせられる2週間だった。(岸本朱子)



タウポのみの参加でした。途中の機内や空港でのアナウンスには全神経を集中して英語を聞きました。タウポについた時は正直ホッとしました。ステイ先はジャネットさん、コリンさんご夫妻。皆より一日早く着いたので、一晩一人でステイしました。とても気軽に接して下さって、リラックスできたので助かりました。ステイの半ばに、真美さんと、8人分の料理を作りました。チーズ、ハム、チキンソテー、アボカド、スモークサーモン、卵焼き、きゅうりなどを使い手巻き寿司を作りました。コリンさん夫妻と私たちのほかに、コリンさんのいとこ（イングランドから）とその友人、デイホストのモレストさん夫妻（ポーランド出身）で、国籍も年齢も多様。「人間の祖先なんて結局みんな同じよね」と盛り上がり、これこそFFなんだなあと感じた夜でした。(岡山佳世)



2週間のニュージーランド滞在で、久しぶりに夜空を見て、星の数の多さに感激。山並みもはるかかなたまで



で見えて、海の水平線が円形に展望できました。両クラブで8軒の家庭を訪問、お茶や食事を通し様々な夫婦との出会いがありました。それぞれの夫婦の協力体制があり、互いに尊敬しあって、私たち夫婦をもてなしてくださいました。そこに至る準備に感謝しつつ熱い交流が出来ました。各家庭の夫の台所仕事の速さに手馴れたものを感じ、夫婦円満のために見習うべきものを感じました。(草野敏治)

渡航、受入れを何度もしたことがあります。会員相互の助け合いが強く、学ぶべきことがたくさん。期間中私たちがホストを招待した食事と、マオリの特別な肉料理をいただいた以外は、全部手作りのポットラックか、ホストをしていない家庭への招待でした。食べ物は、会員が協力して作っていました。寒い時期なので、温かいものはさらに温めなおしてくださり、どれもおいしくいただけました。タウポでは、2001年に我が家で受け入れたことのある Rob と Bev の家にステイ。マッチングが決まった時から楽しみで、再会した時は長く抱き合っただけ喜びました。二人はタウポでは一番古い FF メンバーで、毎晩のように FF のよさを語り合いました。(草野静子)



ホームステイ初体験の私は、ニュープリモスの空港でホストの方達との握手と軽い抱擁の挨拶で、それまでの不安も消え、期待だけが強まりました。ニュープリモスでは連日持ち寄りパーティ。会場になる家庭では、準備から終了までの手際の良い皆様の動き、それも 70 代、80 代の女性達のパワーとそれを静かに支えるご主人たち。私たちのホスト夫妻もその典型。しっかり者でチャキチャキの奥様と物静かで縁の下の力持ちのご主人。手にあかぎれを作ってまで家のことをすべてされていました！ タウポでは、男性たちの、パーティをユーモアたっぷりに盛り上げるパワーのすごさにびっくり。フェアウェルパーティでは、競馬ゲームでの好演技が場を盛り上げみな大笑い。ホームステイならではの体験をたくさんできて、大変楽しかったので、これからもどんどん出かけて行きたいです。(森本篤子)

ニュープリモスでは、75 歳の一人暮らしの女性の家にステイしました。静かでゆっくりした生活をされていて、買い物も月に一度。料理はすべて手作りで、おいしくいただきました。驚いたのは、80 歳を超える ED のアウディさん。激しい雨の中、エグモント山ツアーの運転とガイドを一人でこなされ、狭い山道、ぬかるみもなんのその、あっぱれ！な運転でした。タウポでは、前の週と一味違うステイでした。朝食も自分で用意し、台所の引き出し、冷蔵庫から何でも取り出して、自由にどうぞ…というスタイル。1 日目は岡山さんと私だけで使っていた洗面所に、次の日はプラス 2 本の歯ブラシ（親戚の人たち）、次の日はまたプラス 2 本（息子さん夫婦）、最後はスキー場で会ったというマレーシアの友人まで！気取らずオープンな家庭に感動。ご夫婦二人で作ったという素敵な庭を見に、また夏にいらっしやいと言って下さいました。(山本真美)



2 週間の楽しい渡航を終えた後、大阪クラブが以前交換したギズボーンに一人で滞在してきました。現地解散が認められることになったおかげです。ロトルア経由で一日がかりでした。以前にもホームステイした Muriel は 81 歳の元気な一人暮らしの女性。ギズボーンは日本と同じ高齢化の問題を抱えて、今、市をあげて地域の人々が助け合う体制を作ろうと取り組んでいます。Muriel は教員・市職員の経験を生かして病院ボランティアなどの若者を育成する活動をしています。BPW（ビジネスプロ女性）50 周年記念の会議と集会にも招かれました。「ゆっくりしよう」と思っていたのですが、忙しい 1 週間になりました。(森由紀子)

## パイクスピーク 受入れに参加・協力をお願いします

10月8日から14日まで、アメリカ・コロラド州のパイクスピークリジョン (Pikes Peak Region) クラブからの9名のアンバサダーが1週目の山形クラブとの交換を終えた後、新幹線で大阪にやってきます。美しい大自然のロッキー山脈の麓からの、ゆったりと大らかな人達で、楽しいお話をいっぱい持ってきて下さることでしょ。8家族の方が受入れに協力してください。アンバサダーの数は少ないですが、中身の濃い交換になるように、クラブ全体で盛り立てていきましょう。楽しみにお待ちください。

9日の京都ツアー、11日の奈良ツアー、13日のパーティには、会員の皆様方にも参加していただけるように準備を進めております。アンバサダーと会員、また会員同士が交流を深めるよい機会でもありますので、ホスト、デイホストの皆様方のみならず、多くの方々に是非ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。(ED 米井登美子)



### スケジュール

10月8日(月・祝) 午後 到着  
9日(火) 京都ツアー  
10日(水) 自由  
11日(木) 奈良ツアー  
12日(金) 自由  
13日(土) パーティ  
14日(日) 出発 新幹線

### 京都ツアー



日時 10月9日(火) 10:30 から約4時間 3時解散予定

JR 京都駅八条西口・観光バス駐車場集合(改札前に委員がいます)

費用 会員:2000円、会員以外:2500円 ◇金閣寺、清水寺、三十三間堂を見学(英語ガイド付き)

◇昼食を持参してください。問い合わせは細辻幸子 [hosotsuji@pop07.odn.ne.jp](mailto:hosotsuji@pop07.odn.ne.jp) Tel/Fax 075-254-8191

### 奈良オプショナルツアー

日時 10月11日(木) 午前11時 近鉄奈良駅 行基像前(噴水前)

会費 1500円(昼食代、東大寺拝観料を含む)現地集めます

まず昼食(和食バイキング)を食べに行きますので、朝食は軽くされたほうがよいでしょう。奈良公園を歩きますので、歩きやすい服、靴で。体調によってはバスを利用することも出来ます。

◇食事の予約が必要です。申し込みは10月9日までに、細辻幸子 [hosotsuji@pop07.odn.ne.jp](mailto:hosotsuji@pop07.odn.ne.jp) 075-254-8191

パーティにもツアーにもFFの緑の名札をお忘れなく!

### パーティ

日時 10月13日(土) 12:30~15:00(受付12時から)

場所 老房(中華料理) 大阪駅前第1ビル12階

会費 ホストファミリー:1000円 会員:2000円 会員以外:2500円

◇準備の都合上、ご参加の方は、10月11日(木)までに長谷部純子までご連絡ください。

Tel/Fax 078-412-9787 [hasebe-j@mug.biglobe.ne.jp](mailto:hasebe-j@mug.biglobe.ne.jp)

◇今回もパーティ会場の片隅でバザーをします。レストランのご好意でさせていただきますので、バッグに入れて帰れるくらいのサイズのものに限らせていただきます。大阪クラブの台所事情をお察しいただき、小さな品物をご提供くださいますようお願い申し上げます。当日ご持参ください。値付けは委員にお任せください。



バザーやります!

**編集後記** 渡航感想文に参加者の皆様のたくさんの体験、思いが書かれていましたが、残念ながら紙面の都合で十分に載せることが出来ませんでした。10月の受入れでお会いすることがあったら、是非直接聞いてみてください。残暑厳しく、長引く夏バテ。早く涼しくなってほしいものです。S

編集・発行 フレンドシップ フォース 大阪クラブ  
発行日 2007年9月9日 第24号  
事務局 〒594-0013 和泉市鶴山台3-1-40  
朝倉 隆夫 tel&fax 0725-43-8331  
[Takao-kiyomi@ican.zaq.ne.jp](mailto:Takao-kiyomi@ican.zaq.ne.jp)  
<http://www.friendshipforce.jp/osaka/index.html>  
編集人 FF大阪クラブ 広報委員会